

# 特定非営利活動法人コミュニティラジオ京都

## 令和2年度活動報告

今期は新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、「ステイホームを楽しい時間にするラジオ」として、放送の継続を大前提に、ゲストのリモート出演、スタジオ内の消毒の徹底などの感染防止対策を行うとともに、SNS・WEBなどの活用による双方向の情報発信を積極的に行いました。

また、物理的な人と人との繋がりを断つことが求められた中、行政や大学、学校、地域の方々と協働し、暮らしに必要な情報や、コロナ禍の中、様々な活動に取り組む姿を発信することで、地域に根差したラジオ局としての活動を広げることができました。

特徴的な取り組みとしては、以下のようなものです。

### ①RADIO MIX KYOTO から感謝・応援メッセージの発信

新型コロナウイルス感染症の治療に当たる医療従事者の皆様をはじめ、不安の多い中、私たちの生活を支えてくださっている全ての方々へ、心より感謝の気持ちと敬意を表し、感謝・応援メッセージをラジオ、ウェブサイトで発信。

### ②堀川病院手作り防護ガウンの寄贈の呼びかけ(4/25-)

堀川病院(院長 相良幸彦様)からの呼びかけをラジオ、ラジオ局 SNS で発信。多数のリアクションがあり、手作りガウンの提供につながった。

### ③テイクアウト情報の発信

～上京エール飯、北エール飯、北区テイクアウト情報と連携し、緊急事態宣言下での飲食店の応援と、ステイホームでのご家庭の飲食をサポート。

### ④部活応援！青春ラジオ ON AIR(参加校 10校・12回放送、9/20-12/6) \*北区役所

～新型コロナの影響で様々な大会や行事の中止により、各種部活動等の発表の機会が減っている中学生、高校生。これまで部活動に打ち込んでこられた生徒の皆さんからお寄せいただいた演奏や部活動への想い、仲間へのメッセージ等を電波にのせてお届けした。

これらは一例ではありますが、コミュニティに根ざしたラジオ局としての存在意義、存在価値を示し得るものであったと考えております。

## 1. 放送事業の充実について

### (1) 放送事業

- ・ 警察や消防、日本赤十字社、共同募金会等とも連携し、多くの公益的な情報を発信してまいりました。
- ・ 番組表を4月より10000部へと増刷し、公共施設、近隣店舗、京都市営地下鉄駅など配布場所を広げたことにより、認知度が向上しました。
- ・ インターネット配信による聴取者の拡大及びポッドキャスト配信による番組のアーカイブ聴取により、一層の顧客増大を図りました。

<参考数値： 令和2年1月度 6,367回 12月度 11,086回 \*最大値 11月度 13,450回

～ スマホアプリ(ListenRadio)からの再生回数値より >

- ・ FM まいづる、京都三条ラジオカフェとの3局連携による番組の相互乗り入れと協同制作を引き続き実施しています。

## (2) 放送環境

- ・ 放送免許の有効期限満了に伴い、放送免許更新の手続きを行いました。再免許にあたっては、運営状況が電波法関係法令等を満たす必要があり、審査の結果総務省から令和2年11月以降の免許が付与されました。
- ・ 放送設備の老朽化や、新型コロナウイルス対策のために新たな備品を購入し、円滑な放送に努めました。

## 2. 会員について

- ・ 会員数はNPO法人の正会員64名（前年：67名）、賛助会員34名（20名）でした。（2020年12月31日現在）
- ・ コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年開催している秋の交流会は開催できませんでした。その代替として、交流の輪を広げるため、会員様向けに動画制作に取り組みました。（2021年1月完成）

## 3. 法人組織の強化について

- ・ 放送局長の下、パート・アルバイトやパーソナリティの運営管理を行うとともに、法人事務や財務についても自立化を図りました。国や府・市からの助成金の活用も含め、スタッフ一人一人が経営意識を持ちながら局運営に携わることができました。
- ・ 理事の増員により、様々な視点からの番組や組織の運営にご意見いただくことができました。また、理事長・副理事長等による三役会の開催により、迅速な方針決定を行うことができました。
- ・ 番組審議会は7名の審議委員から毎月熱心なご意見を頂戴し、番組作りの改善に反映することが出来ています。
- ・ 番組「こっそり相談所」をご支援いただく新たな寄付枠を設け、放送の継続化が図られました。これにより、経営安定化を図るための新たな活路を見出すことができました。
- ・ NPO債の満期に伴い、新規の購入及び多くの方々から再購入のお申し出をいただき、安定基盤のためのご支援をいただくことができました。



